

【管理監督者の役割とリーダーシップ】

今日の企業サバイバルの時代にあっては、確固たる経営戦略の確立と全社員一丸となって勝ち抜く強い団結が不可欠です。このとき組織の要である管理監督者のリーダーシップの発揮がきわめて大切です。

本セミナーでは、管理監督者としての役割を踏まえ明日からの職場でその期待にどう応えていくかを研修します。また、受講者各人が自信を持って自社に帰り「実践」によって自己開発を押し進めていくように指導します。

| | |
|------|-------------------------------------|
| 開催日時 | 2020年 9月24日(木)～25日(金) |
| | 開始 9:30～ 終了 16:30 (内休憩 11:50～12:50) |
| 講師 | 人材開発研究所 コンサルタント 菊池隆志氏 |
| 受講料 | 26,000円(テキスト代・昼食代・消費税込) |
| 対象者 | 部課長等の管理職、課長補佐・係長等の準管理職及び監督者層 |
| 会場 | (株)久喜菖蒲工業団地管理センター 研修室 |
| 申込期限 | 開催日の1週間前までにお申し込みください。(定員20名) |



| | | | |
|---|---|---|--|
| 一 日 目 カ リ キ ユ ラ ム | 1. 管理監督者の立場と基本的役割 (1) 立場の再認識 (2) 評価される仕事の結果と態度と能力 (3) 求められる3つのスキル 2. 管理監督者として、周囲の期待にどう応えていくか (1) 社内外への影響力をどう強化するか (2) 部下をどう戦力化していくか (3) 不可欠な「業績への意欲」と「部下への関心」 (4) 必要とされる4つの対処パターンを実践する 3. 事例研究とグループ討議 ～とるべき対処パターン～ (1) グループ討議 (2) 発表と講評 | 二 日 目 カ リ キ ユ ラ ム | 4. 着実に仕事の実績をどう高めていくか (1) 守備範囲の仕事をコントロールするためには (2) 期日までにやるべき事を明確にし指示徹底する (3) やり方の工夫と改善強化を日常化する (4) ゴールを確かめ目標を積極活用する 5. グループ討議 ～課題研究～ 6. 自らの日常行動で職場をどう活性化していくか (1) 職場での交流を増やす (2) 感情をため込まずため込ませない (3) 率先垂範を実践する 7. まとめ ～自己啓発を継続する～ |
|---|---|---|--|

参加者の感想

- ・ 楽しい雰囲気の中で実践を交えた内容で良かった。指示の出し方で、自分の傾向、苦手が分かって良かった。
- ・ とてもわかりやすく勉強になりました。2日間学んだことを明日から実践していきたいです。ありがとうございました。
- ・ 難しすぎず、先生の実体験など踏まえての説明でわかりやすかった。
- ・ 興味深く聞くことができ、今後にいかしたいと思います。ありがとうございました。 など

受講申込書

| | | | | | | |
|--------------|------|----|----|---------|----|--|
| 会社名・担当者名(部署) | | | | 住所・電話番号 | | |
| | | | | | | |
| 氏名 | フリガナ | 性別 | 年齢 | 所属役職 | 備考 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

問い合わせ (株)久喜菖蒲工業団地管理センター 担当 長谷川
 TEL:0480-22-8911 FAX:0480-23-5300 mail:hasegawa@kukishobu-ipwc.co.jp